

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	林道災害復旧事業(補助)	会計	一般会計	事業No.	434	施策順No.	41-007
		事業種別	政策・その他	予算科目	11-1-2-10-1		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	林務課		
施策	41 災害対策の推進		事業期間	開始	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	林道施設の災害箇所						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		個所数(個所)	16	6	0	0		
	意図	現状へ復帰する						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	復旧率% 0カ所/0カ所	100	100	100	100	100	100	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		目標に対し十分な成果が図られた。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	災害復旧工事 <参考>細々名目:現年発生林道補助災害復旧事業費 平成22年度は7月14日～15日にかけての梅雨前線豪雨災害により、国庫補助対象となる林道施設災害が9路線11件発生し、現状に復旧する		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	災害復旧工事全路線	式	1
23年度実施計画	平成22年度 繰越工事 9路線 松川入線・押の沢線・赤石線・御池山線・矢筈線・鷹巣線・大倉線・ツベタ沢線・千遠線 災害復旧工事全路線	箇所 式	11 1

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	一般財源	県支出金	82,750	22,149		
		起債	13,200	3,900		
		その他				
		一般財源	3,355	904		
		計(A)	99,305	26,953	0	
		正規職員所要時間				
		臨時職員等所要時間				
		人件費計(B)		0		
		トータルコスト A+B		26,953		

22→23繰越明許費 72,352千円
(国)林道補助災害復旧事業補助金
(松川入線他87.5/100、ツベタ沢線他 80.6/100)
(地)災害復旧(充当率90%)

4 事業に対する市民や議会の意見

市民及び議会からの災害復旧要望が多く出されている

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞り者、財産の災害や火災の被害を軽減する	施策の成果指標又はムトス指標	市民が災害にそなえている割合(%) 火災発生件数(件)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	22箇所の災害復旧工事を行い、通行車両の安全を確保した。		
	後期に向けた課題	市民生活を守るため、災害が発生した場合は引き続き進める必要がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	現状が精一杯である		
	後期に向けた課題	現状が精一杯である		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	工法検討によりコスト削減を図った。		
	後期に向けた課題	工法検討や効率的な事業実施により、コスト削減を図る。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	林道の災害復旧であり、林道管理者として林道災害復旧事業を行った。		
	後期に向けた課題	林道の災害復旧であり引き続き、林道管理者として関与する。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	①林道の管理者は飯田市であり、通行車両及び歩行者の安全確保。 ②林道の管理者としての林道の安全確保。		
	後期に向けた課題	①林道の管理者は飯田市であり、通行車両及び歩行者の安全確保。 ②林道の管理者としての林道の安全確保。		
全体を通じて	4年間の振り返り	災害を復旧することにより市民生活の安全を確保出来た。		
	後期に向けた課題	災害を復旧することにより引き続き、市民生活の安全を確保する。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ある	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------